



今月の題字
大釋 瑞優ちゃん
(山田北小2年)

田丁のわたくし

環境保全協定の三者調印式 互いの発展誓い固い握手

11月14日、町と浜川目地区コミュニティー推進協議会、大沢漁業協同組合の三者による環境保全協定調印式が役場特別会議室で行われました。大沢漁協が建設する漁業系廃棄物堆肥処理施設に関し、良好な環境を保全するため締結されたもので、式には沼崎喜一町長、鈴木徳夫会長、福士剛代表理事組合長ら12人が出席。鈴木会長は「協定の順守と工事の安全を願う」、福士組合長は「協定を順守していきたい」とあいさつ。協定書にそれぞれ調印し交換、お互いの発展を願い堅い握手を交わしました。

環境保全協定書調印式



山田南小と豊間根小で林業体験 シイタケほだ木作りに挑戦

11月8日と12日、山田南小学校と豊間根小学校では、シイタケの振興と林業に触れる機会をつくることを目的にほだ木づくり体験が行われました。このうち山田南小では、同校裏にある「ふれあいの森」に4年生53人が参加。宮古地方振興局林務部職員の指導を受け、コナラの原木にドリルで約20個の穴を空けて、シイタケの菌が入った種駒を木槌で一つずつ打ち付ける作業を行いました。子供たちの手で作られたほだ木50本は日陰に設置され、2年後の収穫を目指しています。



豊間根中でファッションショー 生徒のドレス姿に盛大な拍手

11月22日、豊間根公民館主催の講演会とファッションショーが行われました。豊間根中学校の道徳公開授業と合わせて開催されたもので、会場となった同校体育館には生徒や保護者、地域の方など150人が来場。ファッションデザイナーの村田愛子さん(盛岡市)が「夢をあきらめないで」と題して講演しました。続いて行われたファッションショーでは、同校生徒や教諭、地域の方9人がモデルとなり、村田さんデザインの衣装を着て登場。ショーの終盤に、ウェディングドレスに身を包んだ生徒が男性教諭にエスコートされて現れると、会場からはひととき盛んな拍手と歓声を送られていました。



「ふるさとCM大賞」審査会 30秒で山田の魅力をPR

11月25日、岩手朝日テレビ主催の「ふるさとCM大賞」の審査会が盛岡市で開催されました。同CM大賞は、県内市町村が地元をPRする30秒のテレビCMで古里自慢を競い合うもので、6回目となる今年は30市町村が参加。本町からは役場総務課が制作した「山田でも…」を出展しました。作品は、山田に在るといわれている「ホタテ海童」を調査しながら、町内各所を巡るというものです。結果、惜しくも入賞はできませんでしたが、参加賞として年間20回本町のCMが放送されることになりました。同審査会の模様は、12月24日午後2時から同局で放送されます。

山田中地区 自主防災会 八幡町の古井戸を再利用 災害発生時の活用を図る

山田中地区自主防災会(東海林博本部長)では、八幡町にある井戸を整備しました。災害時に洗濯や掃除などに使用できるように、同地区で長年使用されていなかった井戸に手押しポンプを新たに設置。保健所の検査を受け飲用に適するものであれば、同会では非常時の飲み水としての利用も考えているそうです。昭和35年のチリ地震津波を経験した東海林本部長は「災害が発生したときに一番困るのは水です。何をするにも水が必要になるので、生活用水として備えをしておきたい」と話していました。



東北電力などから球根1,000個寄贈 長崎地区の花壇に植え付け

東北電力宮古営業所(外館忠一所長)などでは、町にチューリップの球根1,000個を寄贈しました。贈呈式は10月29日に役場特別応接室で行われ、外館所長と関連企業の代表4人が出席。外館所長が「安定した電力を供給することはもちろん、地域とより良い関係を築いていきたい」とあいさつし、沼崎喜一町長に目録と球根を手渡しました。翌30日には長崎地区の町道沿いの花壇で植え付け作業が行われ、山田南小4年の児童と飯岡地区住民自治会、東北電力の社員ら82人が参加。球根が参加者の手により、一つ一つ丁寧に植えられていました。



長崎地区の花壇に球根が植え付けられました(写真上) / 10月29日に行われた贈呈式の様子

